



報道関係者各位

産業能率大学スポーツマネジメント研究所調査

コロナ禍のスポーツ観戦意識調査

各スポーツのファン別に調査 全国の 20 歳～ 69 歳 2,998 人を対象

産業能率大学スポーツマネジメント研究所（所長：中川直樹 情報マネジメント学部教授）は、コロナ禍におけるスポーツ観戦に対する意識を尋ねる調査を実施しました。調査は、各スポーツのファン別に行い、全国の男女 2,998 人から回答を得ました。調査の設計・分析は、同研究所の小野田哲弥研究員（情報マネジメント学部教授）が担当。調査は 7 月 23 日から 25 日までの 3 日間、インターネット調査会社を通じて実施しました。

調査からは、コロナ禍による自粛期間中のスポーツ観戦意識は様ではなく、ファンである競技によって意識が異なる結果となりました。

【コロナ禍による開催延期】 → コロナ自粛と開幕が重なった競技のファンは、期待が大きかった分、落胆も大きかった。オフシーズン競技のファンは相対的に退屈さは感じていないと考えられる。

コロナ自粛によって、プロスポーツが行われない日々はつまらなかった

1 位	2 位	3 位	下位
プロ野球 ファン 93.9%	Jリーグ ファン 92.2%	メジャーリーグ ファン 86.7%	バレーボールファン 49.6% フィギュアスケートファン 46.7% eスポーツファン 33.3%

【無観客による試合開催】 → 無観客であっても再開されたスポーツは、ファンに大きな勇気を届け、歓声にかき消されていた競技独自の音や選手の息づかいが新鮮に捉えられている。

無観客のプロスポーツ中継も、新鮮な面白味があった

1 位	2 位	3 位	下位
プロ野球 ファン 88.3%	Jリーグ ファン 83.5%	野球日本代表 ファン 76.9%	NBA ファン 57.4% フィギュアスケートファン 56.2% eスポーツファン 55.6%

【with コロナのスポーツ観戦】 → コロナ感染のリスクの捉え方は競技特性やファンの性別・年齢層の影響も大きい。女性や年配の方は、現地観戦を見送る率が高く出る結果となった。

コロナが完全に終息するまでは、開催地でのスポーツ観戦は控えたい

1 位	2 位	3 位	下位
フィギュアスケート ファン 80.1%	F1 ファン 77.9%	海外サッカーファン 74.1%	メジャーリーグ ファン 55.6% Jリーグ ファン 55.3% eスポーツファン 51.9%

開催会場で観戦するファンが、大声を出したり騒いだりするのは防ぎようがないと思う

1 位	2 位	3 位	下位
バレーボールファン 68.1%	Bリーグ ファン 67.4%	海外サッカーファン 66.7%	高校野球ファン 54.6% 大相撲 ファン 54.6% メジャーリーグ ファン 53.3%

【東京五輪】 → 来年東京五輪を開催されてほしいと願う率では、11 大会ぶり出場のバスケットボール、優勝が期待される野球日本代表、錦織圭選手と大坂なおみ選手の出場が期待されるテニスで熱望の度合いが強い結果が出た。

コロナ禍が収まって、来年無事に東京オリンピック・パラリンピック大会が開催されてほしい 74.7%

1 位	2 位	3 位	下位
Bリーグ ファン 84.8%	野球日本代表 ファン 80.8%	テニス ファン 78.9%	格闘技ファン 65.7% メジャーリーグ ファン 64.4% eスポーツファン 51.9%

【調査したスポーツファンの種目】

プロ野球、メジャーリーグ、高校野球、侍ジャパン（野球日本代表）、Jリーグ、海外サッカー、サッカー日本代表、Bリーグ（国内プロバスケット）、NBA（北米プロバスケット）、ラグビー、バレーボール、卓球、ゴルフ、テニス、フィギュアスケート、大相撲、格闘技、F1、競馬・競輪・ボートレース、eスポーツ



【調査総括】

コロナ禍によるプロスポーツの開催延期について聞いた質問では、開幕と時期が重なった競技のファンは、期待が大きかった分、落胆も大きかった。一方、オフシーズン競技のファンは相対的に退屈さは感じていない結果となった。

無観客であっても再開されたスポーツは、ファンに大きな勇気を届け、歓声にかき消されていた競技独自の音や選手の息づかいが新鮮に捉えられていると考えられる。

コロナ感染のリスクの捉え方は競技特性やファンの性別・年齢層の影響も大きい。女性や年配はリスク回避志向が強いため、当該層がファンの多くを占める競技では、必然的に現地観戦を見送る率が高く出る結果となった。

来年無事に東京五輪を開催できてほしいと願う率は、どの競技ファンでも過半数だが、とりわけ、11 大会ぶりの出場を決めたバスケットボール、優勝が期待される野球日本代表、そして、男子は錦織圭選手、女子は大坂なおみ選手の出場が期待されるテニスファンにおいて熱望の度合いが強い結果が出た。

調査からは、コロナ禍のスポーツ観戦意識は一樣ではなく、どの競技のファンかによって異なることが読み取れる結果となった。



【調査結果】

コロナ自粛によって、プロスポーツが行われない日々はつまらなかった

(N=2,998)

全体 74.0%

競技別順位

順位	競技	単位%
1位	プロ野球ファン	93.9%
2位	Jリーグファン	92.2%
3位	メジャーリーグファン	86.7%
4位	Bリーグ(国内プロバスケ)ファン	84.8%
5位	ゴルフファン	82.7%
6位	海外サッカーファン	81.5%
7位	高校野球ファン	70.5%
8位	NBA(北米プロバスケ)ファン	68.1%
9位	サッカー日本代表ファン	68.1%
10位	テニスファン	66.1%
11位	侍ジャパン(野球日本代表)ファン	65.4%
12位	大相撲ファン	64.8%
13位	ラグビーファン	63.0%
14位	競馬・競輪・ボートレースファン	59.4%
15位	F1ファン	58.9%
16位	格闘技ファン	55.9%
17位	卓球ファン	50.0%
18位	バレーボールファン	49.6%
19位	フィギュアスケートファン	46.7%
20位	eスポーツファン	33.3%



【調査結果】

コロナ自粛後、プロスポーツの開幕に元気や勇気をもらっている

(N=2,998)

全体 64.2%

競技別順位

順位	競技	単位%
1位	プロ野球ファン	84.7%
2位	Jリーグファン	78.6%
3位	Bリーグ(国内プロバスケット)ファン	76.1%
4位	侍ジャパン(野球日本代表)ファン	65.4%
5位	ゴルフファン	64.0%
6位	高校野球ファン	62.9%
7位	NBA(北米プロバスケット)ファン	61.7%
8位	海外サッカーファン	60.2%
9位	メジャーリーグファン	60.0%
10位	サッカー日本代表ファン	59.6%
11位	ラグビーファン	57.6%
12位	大相撲ファン	54.6%
13位	競馬・競輪・ボートレースファン	50.5%
14位	バレーボールファン	50.4%
15位	F1ファン	48.4%
16位	テニスファン	46.8%
17位	格闘技ファン	45.1%
18位	卓球ファン	44.0%
19位	フィギュアスケートファン	42.1%
20位	eスポーツファン	33.3%



【調査結果】

無観客で行うくらいなら、プロスポーツを開催する意味がないと思う

(N=2,998)

全体 14.4%**競技別順位**

順位	競技	単位%
1位	侍ジャパン(野球日本代表)ファン	26.9%
2位	NBA(北米プロバスケット)ファン	25.5%
3位	格闘技ファン	18.6%
4位	eスポーツファン	18.5%
5位	卓球ファン	18.0%
6位	高校野球ファン	17.6%
7位	F1ファン	16.8%
8位	メジャーリーグファン	15.6%
9位	ゴルフファン	15.3%
10位	Jリーグファン	15.0%
11位	バレーボールファン	14.9%
12位	ラグビーファン	14.1%
13位	フィギュアスケートファン	13.6%
14位	競馬・競輪・ボートレースファン	13.5%
15位	プロ野球ファン	13.4%
16位	Bリーグ(国内プロバスケット)ファン	13.0%
17位	大相撲ファン	12.0%
18位	サッカー日本代表ファン	11.4%
19位	海外サッカーファン	11.1%
20位	テニスファン	9.2%



【調査結果】

無観客のプロスポーツ中継も、新鮮な面白味があった

(N=2,998)

全体 74.4%**競技別順位**

順位	競技	単位%
1位	プロ野球ファン	88.3%
2位	Jリーグファン	83.5%
3位	侍ジャパン(野球日本代表)ファン	76.9%
4位	ラグビーファン	76.1%
5位	メジャーリーグファン	73.3%
6位	ゴルフファン	72.0%
7位	Bリーグ(国内プロバスケ)ファン	71.7%
8位	F1ファン	71.6%
9位	高校野球ファン	71.0%
10位	競馬・競輪・ボートレースファン	70.8%
11位	大相撲ファン	70.4%
12位	海外サッカーファン	68.5%
13位	バレーボールファン	68.1%
14位	サッカー日本代表ファン	67.5%
15位	テニスファン	67.0%
16位	格闘技ファン	62.7%
17位	卓球ファン	60.0%
18位	NBA(北米プロバスケ)ファン	57.4%
19位	フィギュアスケートファン	56.2%
20位	eスポーツファン	55.6%



【調査結果】

有観客試合開始のタイミングは早すぎたと思う

(N=2,998)

全体 45.9%

競技別順位

順位	競技	単位%
1位	フィギュアスケートファン	64.0%
2位	F1ファン	61.1%
3位	NBA(北米プロバスケ)ファン	55.3%
4位	バレーボールファン	53.9%
5位	Bリーグ(国内プロバスケ)ファン	52.2%
6位	卓球ファン	52.0%
7位	侍ジャパン(野球日本代表)ファン	50.0%
8位	海外サッカーファン	49.1%
9位	高校野球ファン	48.1%
10位	競馬・競輪・ボートレースファン	44.8%
11位	Jリーグファン	44.2%
12位	ゴルフファン	42.7%
13位	ラグビーファン	42.4%
14位	メジャーリーグファン	42.2%
15位	格闘技ファン	42.2%
16位	プロ野球ファン	41.1%
17位	eスポーツファン	40.7%
18位	テニスファン	39.4%
19位	大相撲ファン	38.0%
20位	サッカー日本代表ファン	38.0%



【調査結果】

コロナが完全に終息するまでは、開催会場でのスポーツ観戦は控えたい

(N=2,998)

全体 66.6%

競技別順位

順位	競技	単位%
1位	フィギュアスケートファン	80.6%
2位	F1ファン	77.9%
3位	海外サッカーファン	74.1%
4位	卓球ファン	74.0%
5位	バレーボールファン	68.8%
6位	競馬・競輪・ボートレースファン	68.2%
7位	サッカー日本代表ファン	67.5%
8位	ゴルフファン	67.3%
9位	高校野球ファン	67.1%
10位	テニスファン	66.1%
11位	NBA(北米プロバスケ)ファン	66.0%
12位	大相撲ファン	65.7%
13位	侍ジャパン(野球日本代表)ファン	65.4%
14位	プロ野球ファン	64.5%
15位	Bリーグ(国内プロバスケ)ファン	63.0%
15位	ラグビーファン	63.0%
17位	格闘技ファン	57.8%
18位	メジャーリーグファン	55.6%
19位	Jリーグファン	55.3%
20位	eスポーツファン	51.9%



【調査結果】

開催会場で観戦するファンが、大声を出したり騒いだりするのを防ぎようがないと思う
(N=2,998)

全体 62.6%

競技別順位

順位	競技	単位%
1位	バレーボールファン	68.1%
2位	Bリーグ(国内プロバスケ)ファン	67.4%
3位	海外サッカーファン	66.7%
3位	eスポーツファン	66.7%
5位	テニスファン	66.1%
6位	卓球ファン	66.0%
7位	サッカー日本代表ファン	65.7%
8位	侍ジャパン(野球日本代表)ファン	65.4%
9位	F1ファン	65.3%
10位	競馬・競輪・ボートレースファン	64.1%
11位	ゴルフファン	64.0%
12位	ラグビーファン	63.0%
13位	格闘技ファン	62.7%
14位	フィギュアスケートファン	62.4%
15位	NBA(北米プロバスケ)ファン	61.7%
16位	プロ野球ファン	61.4%
17位	Jリーグファン	60.2%
18位	高校野球ファン	59.5%
19位	大相撲ファン	54.6%
20位	メジャーリーグファン	53.3%



【調査結果】

現実問題として、来年の東京オリンピック・パラリンピック大会の開催も難しいと思う
(N=2,998)

全体 84.8%

競技別順位

順位	競技	単位%
1位	侍ジャパン(野球日本代表)ファン	92.3%
2位	フィギュアスケートファン	89.3%
3位	プロ野球ファン	87.9%
4位	F1ファン	87.4%
5位	ゴルフファン	86.7%
6位	Bリーグ(国内プロバスケット)ファン	84.8%
7位	テニスファン	84.4%
8位	大相撲ファン	84.3%
9位	卓球ファン	84.0%
10位	Jリーグファン	84.0%
11位	高校野球ファン	83.8%
12位	ラグビーファン	83.7%
13位	競馬・競輪・ボートレースファン	83.3%
14位	海外サッカーファン	82.4%
15位	格闘技ファン	82.4%
16位	NBA(北米プロバスケット)ファン	80.9%
17位	メジャーリーグファン	80.0%
18位	サッカー日本代表ファン	79.5%
19位	バレーボールファン	76.6%
20位	eスポーツファン	63.0%



【調査結果】

コロナ禍が収まって、来年無事に東京オリンピック・パラリンピック大会が開催されてほしい

(N=2,998)

全体 74.7%

競技別順位

順位	競技	単位%
1位	Bリーグ(国内プロバスケット)ファン	84.8%
2位	侍ジャパン(野球日本代表)ファン	80.8%
3位	テニスファン	78.9%
4位	ゴルフファン	78.7%
5位	ラグビーファン	78.3%
6位	プロ野球ファン	77.9%
7位	サッカー日本代表ファン	77.1%
8位	フィギュアスケートファン	76.4%
9位	高校野球ファン	73.8%
10位	Jリーグファン	73.8%
11位	バレーボールファン	73.8%
12位	大相撲ファン	73.1%
13位	NBA(北米プロバスケット)ファン	72.3%
14位	卓球ファン	72.0%
15位	F1ファン	69.5%
16位	海外サッカーファン	69.4%
17位	競馬・競輪・ボートレースファン	67.7%
18位	格闘技ファン	65.7%
19位	メジャーリーグファン	64.4%
20位	eスポーツファン	51.9%



【調査概要】

【調査概要】

調査時期：2020 年 7 月 23 日～7 月 25 日の 3 日間 調査方法：インターネットリサーチ

調査対象：全国 20～69 歳対象 10,000 人

※サンプル割付は、総務省統計局「人口推計（令和 2 年 7 月 1 日現在人口）」（令和 2 年 7 月 20 日公表／調査時最新データ）の比率に基づく。

【コロナ禍のスポーツ観戦意識調査】

サンプル：調査対象 10,000 人のうち

各競技への関心について『最も関心がある』と回答した 2,998 人

男女内訳：男性 1,972 女性 1,026 人

調査サンプル・ファン競技別・年代別内訳

単位：人

ファン競技	N	男性	構成比	女性	構成比	平均年齢	20代	構成比	30代	構成比	40代	構成比	50代	構成比	60代	構成比
プロ野球	836	649	77.6%	187	22.4%	41.6	214	25.6%	198	23.7%	174	20.8%	140	16.7%	110	13.2%
メジャーリーグ	45	35	77.8%	10	22.2%	42.0	12	26.7%	8	17.8%	9	20.0%	10	22.2%	6	13.3%
高校野球	210	113	53.8%	97	46.2%	43.5	36	17.1%	46	21.9%	58	27.6%	45	21.4%	25	11.9%
侍ジャパン（野球日本代表）	26	15	57.7%	11	42.3%	44.2	7	26.9%	3	11.5%	4	15.4%	6	23.1%	6	23.1%
Jリーグ	206	168	81.6%	38	18.4%	40.2	40	19.4%	72	35.0%	50	24.3%	26	12.6%	18	8.7%
海外サッカー	108	99	91.7%	9	8.3%	37.9	37	34.3%	29	26.9%	23	21.3%	14	13.0%	5	4.6%
サッカー日本代表	166	131	78.9%	35	21.1%	46.7	24	14.5%	37	22.3%	34	20.5%	27	16.3%	44	26.5%
Bリーグ（国内プロバスケット）	46	22	47.8%	24	52.2%	38.0	17	37.0%	7	15.2%	13	28.3%	8	17.4%	1	2.2%
NBA（北米プロバスケット）	47	39	83.0%	8	17.0%	35.4	17	36.2%	15	31.9%	10	21.3%	5	10.6%	0	0.0%
ラグビー	92	55	59.8%	37	40.2%	46.8	11	12.0%	16	17.4%	16	17.4%	33	35.9%	16	17.4%
バレーボール	141	38	27.0%	103	73.0%	40.4	41	29.1%	31	22.0%	24	17.0%	32	22.7%	13	9.2%
卓球	50	24	48.0%	26	52.0%	47.1	8	16.0%	10	20.0%	8	16.0%	10	20.0%	14	28.0%
ゴルフ	150	126	84.0%	24	16.0%	51.8	11	7.3%	11	7.3%	36	24.0%	49	32.7%	43	28.7%
テニス	109	53	48.6%	56	51.4%	49.0	14	12.8%	20	18.3%	13	11.9%	30	27.5%	32	29.4%
フィギュアスケート	242	9	3.7%	233	96.3%	51.0	18	7.4%	31	12.8%	48	19.8%	64	26.4%	81	33.5%
大相撲	108	44	40.7%	64	59.3%	49.6	11	10.2%	18	16.7%	21	19.4%	24	22.2%	34	31.5%
格闘技	102	86	84.3%	16	15.7%	44.0	13	12.7%	24	23.5%	31	30.4%	26	25.5%	8	7.8%
F1	95	84	88.4%	11	11.6%	47.9	14	14.7%	13	13.7%	18	18.9%	30	31.6%	20	21.1%
競馬・競輪・ポートレース	192	158	82.3%	34	17.7%	44.7	19	9.9%	40	20.8%	74	38.5%	38	19.8%	21	10.9%
eスポーツ	27	24	88.9%	3	11.1%	31.8	14	51.9%	9	33.3%	2	7.4%	1	3.7%	1	3.7%
サンプル全体	2,998	1,972	65.8%	1,026	34.2%	44.1	578	19.3%	638	21.3%	666	22.2%	618	20.6%	498	16.6%

◆本件に関するご取材◆

産業能率大学 企画課

〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15

Email : kikaku@hj.sanno.ac.jp TEL:03-3704-0731